

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

令和4年度第2回

(令和5年2月17日)

令和4年度第2回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 令和5年2月17日(金)
開 会 午前10時00分 閉 会 午前11時30分
2. 場 所 南丹市役所 3号庁舎 2階第4会議室
3. 協議事項 別紙次第のとおり
4. 出席委員 村上委員長 西村副委員長
粟津委員 小林委員 山森委員 細野委員 中田委員 高西委員
寺田委員 新井委員 西田委員 福田委員 大谷委員 石丸委員
5. 事務局 福祉事務所長 矢田
社会福祉課課長 奥村
社会福祉課係長 前
つくし園施設長 前田
6. 傍聴人 0名

1.開会あいさつ 委員長

寒い中、お集まり頂きありがとうございます。子育て発達支援センターは地域に根ざした大きな施設、役割を果たしていると思います。本日も事務局からの報告の後、委員の皆様それぞれの立場で忌憚ないご意見を聞かせていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3.議事

・令和4年度発達支援相談事業経過報告

事務局より資料1, 2を基に報告。

・令和4年度児童発達支援事業経過報告

事務局より資料3, 4を基に報告。

・事業経過報告について質疑応答

A 委員:つくし園の関係機関との連携で就学に向けての年長児を対象として情報発信している内容をもう詳しく聞かせていただきたい。

事務局:家族会の開催の内容につきましては、8ページにあります(3)の主な活動状況の中の6月3日、7月12日、9月16日の3回。6月は5者面談のアドバイザーとして参加していただいている菅生先生に就学後にどのような学びの場があるのか具体的に説明いただき、7月は現在小学1年生OBとの懇談会で交流、9月は放課後の過ごし方について、社会教育課からは児童クラブについて、社会福祉課からは放課後等デイサービスの説明、南丹市内の放課後等デイサービス事業所からの説明をしていただいております。今年度は3事業所(4事業所のうち)から説明をいただいております。

B 委員:家族会主催で開催するのであれば、事務局が報告すべき事案ではないと思うが。別団体としての報告があったことを伝える方がよいと考える。

C 委員:B 委員に同感である。つくし園保護者会は毎年委員が交替していくので、自分たちで学習会を企画することの難しさはあると感じている。報告書式の変更で理解する。

事務局:次回から書面の修正をして報告させていただく。

C 委員:情報共有の場として聞かせて頂きたい。さくら指導教室と、放課後等デイサービス事業利用者との連携について

A 委員:さくら指導教室の担当課から概要説明。不登校ケースの支援について認知されていない情報があるのであれば、今後確認していく。

B 委員:福祉サービスには計画相談員がついている。計画相談という仕組みが教育で理解されていない可能性もある。

D 委員:福祉サービスとの支援の在り方は今後、園・校にも周知する必要もある。

事務局：個別ケースの事案については後程、調整させていただくこととする。

議長：ありがとうございました。他にご質問、ご意見はありませんか。

⇒質疑なし

・令和5年度事業計画について報告

事務局より資料5, 6を基に報告。

・事業計画報告について質疑応答

E 委員：令和4年度はコロナ禍で中止も多かった。ぜひ来年度は交流会等を増やして頂ければと思います。親同士の交流の時間は大切だと思います。

F 委員：我が子も小さい頃から発達支援にかかって支援していただいた。早期支援があることで、子どもの成長により影響を与えて頂き、大変南丹市で良かったと感謝している。今後も連携を密にいただき、親子成長していきたい。

議長：発達支援事業及び児童発達支援事業経過報告及び事業計画について、承諾いただける方は挙手願います。

⇒全員挙手

議長：承認されました。

それでは、議事をこれで終わります。

議長退壇

4.閉会のあいさつ 副委員長

皆様から貴重なご意見を賜り、私自身の学びにもなりましたし、非常に良い会議を持つことができたと思います。今年度もコロナの影響で学校行事や園行事の交流する機会も減ってしまいましたが、5月に5類のほうに移行することを期待したい。情報共有でも組織の連携も課題だと感じたところです。南丹市は子育て支援は充実している市であることを誇れる報告だったと感じました。来年度も子どもたちのよりよい環境づくりができるよう皆様方と知恵を絞って実践へと繋げていただければと思います。本日はありがとうございました。